

令和4年度全国学力・学習状況調査の分析および考察についてのお知らせ

秋冷の候、皆様におかれましてはご健勝のことと存じます。また、日頃より本校の教育活動にご支援、ご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、6年生を対象に4月に実施された全国学力・学習状況調査の結果をもとに、課題を分析・考察し、今後の本校の教育活動について力を入れて取り組むことのお知らせ致します。

〈調査結果〉

国語

- 物語を読み、登場人物の行動や気持ちや相互関係について、叙述や描写をもとに読み取ることができている。
- 文章全体の構成に着目して、文章に対する感想や意見から、自分の文章のよいところを見付け、表現することができる。
- ほとんどの児童が学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができる。
- △互いの立場や意図を明確にしながらかし合ひの中で、自分の考えを条件に沿ってまとめることに、弱さが見られる。

算数

- 問題場面の数量の関係に着目し、もとにする量・くらべる量・割合の関係や、伴って変わる2つの数量関係を用いて、正しく求めることができる。大問2
- △日常生活の問題を解決するために、算数で学習したことをもとに、目的に応じて、数量の関係に着目し、公約数や公倍数や概数などを使って、数の処理の仕方を考えることに弱さが見られる。大問1(2)(4)
- △図形の意味や性質について理解したり、図形の意味や性質をもとに作図したりすることに弱さが見られる。大問4(1)(3)(4)

理科

- 主に地球に関する観察などで得た結果を、結果からいえることの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができる。
- △主に物質・エネルギーに関する実験の結果を、分析、解釈し、根拠を明確にして自分の考えを表現したり、実験方法をさらに改善する方法を考えたりすることに弱さが見られる。
- △過去に学習した理科の事象や実験器具などの基礎的・基本的な内容についての定着が不十分な部分がある。

児童質問紙

- 自分にはよいところがあると思っている児童が多く、自己肯定感が高い傾向にある。
- 将来の夢や目標をもっている児童が8割以上いる。
- 学習でICT機器を使うことは役に立つと考えている児童が多い。また、授業中にもICTをよく使用していると実感している。
- △学習(国語・算数・理科)に対する意欲がやや低い傾向がある。
- △平日にゲームやSNSなどを行っている時間の長い児童が全国平均に比べ多く見られる。(4時間以上約29%、3時間以上約9%、2時間以上約17%)
- △家庭での平日の学習時間が、全国平均に比べ少ない傾向にあり、ゲームやSNSに多くの時間を割いていることがわかる。

※裏面もご覧ください。

□以上の結果から、今後学校として力を入れたいこと

- ・自分たちで課題を立て、解決に向けて話し合いながらまとめ、表現する学習活動を意図的に位置付けた授業を行っていきます。
- ・相手の考えを最後まで聞き、自分の考えを伝える交流活動を大切にして、継続的に実践します。
- ・主体的・意欲的に学ぶことができるような授業改善を、今後も継続的に行っていきます。
- ・今後も学校行事や諸活動の中で、目標を明確にして一人ひとりの活躍を見届け、よい姿をどんどん認めて、自己肯定感を育てていくようにします。

□ご家庭でお願いしたいこと

- ・基本的な生活習慣を身に付ける。(あいさつ・早寝・早起き・朝ごはんなど)
- ・学習用具を整える。(持ち物・筆箱の中身・適度な長さの鉛筆・学校用タブレットの充電など)
- ・落ち着いて学習に取り組めるように環境を整える。
- ・ゲームやSNSなどのルールを親子で話し合う。(使用時間・使用場所など)
- ・“自分にはよいところがある”と実感できるようによい姿は進んでほめる。

